

みさと未来プロジェクト

設立趣意書

平成 23 年 5 月

社会の仕組みが複雑化し、人々の価値観が多様化し、社会の変化が加速している中で、このたびの甚大なる災害が経済システム、社会システムを根底から覆してしまいました。我々町民はなんとしてもこの逆境を乗り越え、これからの会津美里町を後世に引き継ぎ、持続可能な町にしなければなりません。それを実現するためには、それぞれの経験、体験による「知恵」と「力」を持ち寄り、共に支え合う事の出来る、新たな地域コミュニティの創造が不可欠であると考えます。

今の我々町民が直面する問題の多くが、今までの考えや専門知識だけでは解決することができなくなってきました。むしろ、多くの草の根の人々が抱いている言葉を越えた感覚や言葉で表せない知恵が問題を解決してくれる場合が多いのも事実です。

これからのまちづくりに取り組むには、多くの草の根の人々の知恵を集めることが重要となってきます。さらに、真に地域社会の問題に関わろうとする当事者意識や単なる自助的な活動の枠を超えた発言、交渉力も必要となってきます。そのような草の根の人々の叡智を集めることのできる「場」の創出が重要です。

このような観点から私たちは、新しいまちづくりへの企画や提案を含め、個人、地域コミュニティ、地方自治体、産業など、それぞれを対等に「つなぎ」「紡ぎ」会津美里町の持続可能な社会の実現を目指す組織(コミュニティ・シンクタンク)「みさと未来プロジェクト」をここに設立するものです。

設立準備会一同